



## 平成20年は岡山発展の黎明の時。

### 個性と魅力あふれる地域作りを目指そう。

謹賀新年。平成10年代の締めくくりは「偽」で終焉した。新しい平成20年代は、希望と勇気に満ちた新生日本の船出。さらに、郷土岡山の前進の為の基礎固めの年にしたい。

#### 1. おかやま適塾の発展の年。

昨年3月13日に始めた「おかやま適塾」は、おかげで18回まで終わった。新年は1月9日より第19回目が再開する。今年も、どうぞ倍旧のご愛顧の程をよろしくお願いします。

一種の起業家精神といえる。立ち上げから運営に至るまで手作りで、皆さんのご協力の賜物です。人選は「おかやま適塾」の名前がだんだんと浸透した証拠と思われるがスムーズに行えている。ありがたい。

私を中心に、グループの人達のお声がかかりで講演を引き受けてもらっている。後援してくれている山陽新聞は毎回記事にして頂きありがたい。

岡山が元気になってくれたらという思いで、言いたいことや聞きたいことを自由に語り合うというのが本来の目標です。

ただ、影響力もかなりあるらしく、気をつけなければ首長選にも影響しそうですが、従来通り自由闊達に行う基本路線に変わりはない。

やってみて思うことは、人を集め

ることがなかなか難しいということです。月に2回で回っていますがベース的にはちょうどよい。

総務省が、タウンミーティングをアキハバラで大金をかけてやったところ、40人程しか集まらなかったという、笑えない現実がありました。役人はたぶん相当なショック。

岡山で活躍している人材を登用するのが基本的な方針であるため、タレント講師を呼ぶことは考慮外。さらに一層、ステータスを高め、県民(市民)が広く参加してくれるようになればありがたい。どうか末長く愛情を注いで頂き、一度はのぞいてみて下さい。走りながら色々知恵をしゃべっていますから…。

18回行って、昔からの「五風十雨」という諺が当てはまることが分った。すなわち、5日に一度風が吹き、10日に一度雨が降るのが普通の地球の営み。確かに、18回の内、雨模様の際は2回あったから、統計的には当たっている。昔の人はいいことをいいましたね。農耕民族の田畑を耕すのにまつわる諺であろう。さすがです。

#### 2. 働くことの大切さ

働くことは、「端を楽にする」ということである。「働かざるもの食うべ

からず」というようなやぼなことはいいませんが、退職して現役から離れると、もう一度バリバリ仕事をするとするのは無理のようです。気持ちがついていかない。

私は、会長とか社長とか岡山で活躍されているご高齢の方が身近にいますので、さほど年齢は感じないのですが、実際はどうもそうらしい。ヒマとカネがあれば、朝からアルコールに手を出して家でブラブラするから病気になる確率は高い。やはり、働く意欲が大切である。

好例としてよく引き合いになるのが、徳島県上勝町の彩事業である。山にいっぱいある葉っぱを集めて料亭の料理の「つま」として売る。年寄り小遣い銭稼ぎも手伝って精を出し、心に張りがあるため元気な年寄りのため医療費が少なくてすむ。

30兆円の医療費が少なくなり少子高齢化の社会に対応するためにも年寄りが生き活きと働ける社会が望ましい。掛け金を支払う拠出型だから金持ちの高齢者にも年金を支給すべきで個人消費増大にもつながる。

現在の日本の社会保障制度は「働くことは悪だ」という思想が蔓延していることは嘆かわしい。「働くことは善だ」という発想の転換の出発年にしたい。

(20・1・1)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
(株)まちづくり総合研究所(都市プランナー)

馬場 勉

新しい年が動き出しました。新年の抱負はいかがですか？私は色々な面で充実した年にしたいと思っています。

まず、「平成つれづれ草」では遠慮することなく、岡山のためになると思うことはしっかり主張したい。また、「おかやま適塾」はさらに一層内容の充実と一般の人へのアピールにつとめたい。特に、今年は選挙の年になる予感がしますので「私の主張」に政治を志す人を公平な立場で一方にかたよらずに積極的に登壇してもらいたいと考えています。自分達の見で、かつ発言し行動する人達が欲しいのです。

年末から年始にかけて、エジプトにピラミッドを見に行っていました。勉強になりました。

年賀状によれば、退職したので悠々自適に暮らしていくという話が多くなりましたが私は一線で働き続けたい。今年は皆さんの貴重なご意見を頂きながら、素直に謙虚に身を処して社業の発展に尽くしたいと考えていますので、よろしくお願い致します。

平成20年1月7日 馬場 勉



## 元気がないぞ日本！岡山もしかり

### 奮起せよ！政治の混迷が最大の原因だ

例年になく寒い年。岡山県南に雪が積っておおわらわ。寒い時は寒くないと商売になりませんから、我慢しましょう。経済力アップにつながればよいが。

#### 1. おかやま豆辞典

他県から岡山に赴任するお偉いさんや学校や就職などで岡山に初めて来る若人の方達へ、ご参考までにひとこと。

岡山は、方向が分かり難いということを書きますが、古都・京都に似ている町並みです。北に山があり、南は平野で開けています。遠くには、電波塔が建っている山があり、東にも山がありますが、京都にも東山三十六峰がありますね。

岡山の人の話し言葉は“きつい”そうです。長年住み着いている者からみれば、さほど違和感はないのですが、土地のなまりや気質を表しているのでしょうか。回りくどくて何を言っているのか分からないよりは、はっきりして、いいと思う。住めば都ですから県外の方もそのうち慣れるでしょう。

交通ルールを守らないので困るといわれますが、自転車専用道路が出来てきました。ようやく車・自転車・人が分離されることになりつ

つあります。

全国的に見れば、おおむね全ての統計上の数値が真ん中当たりであって中庸を保っているのですが、蓄えは結構あるようです。金持ち喧嘩せず、のんびりした風潮の街なのでしょう。シャイで積極性に欠ける？

比較的市内は碁盤の目ように道が形成されていますが、ただ、目印になる著名な建物が少ない。ビルに大きな広告塔を建てるのも良いかもしれませんが。一番の混乱の原因は、新幹線などが真っ直ぐ東西に走っていないためでしょう。支線も多く迷う。

西川緑道公園と言うのに駅の東方を南北に流れていると疑問に思われる人もいますが、岡山の街はもともと表町（天満屋あたり）が中心だったので、表町から見て西を流れているため西川といったのでしょうか。

今は、岡山駅が中心になった観がしますので、駅から見れば西川緑道公園は東になり、おかしいと思われるフシもなるほどと思われそうですが…。

要は、街は生き物で動くのです。西川の呼称を変える必要があるかもしれませんが。岡山の人はそんなことには、気づきませんでした…。

#### 2. どうした？日本経済

年初来、株安が目立つ。日本は世

界から見放されたらしい。優良株が投げ売り状況。どうにもなりません。

アジアを旅行してみると交通ルールなどめちゃくちゃでも街には活気がある。翻って、日本は元気がなさそう。安定志向を求め活気に欠けるということか。成熟社会になったのか。

「なんとかなる」ということで国民がリラックスしている間に、アジアなど発展途上国からは、日本が目標とされ「追いつき追い越せ」という勢いで追い上げ、抜きつつある。だから勢いを感じる。

国民も国会の先生方もピリッとせず、腹の座った大物の政治家が少ないという印象が強くなった。総理大臣が“だじゃれ”を平気で言うようになり、子供がまねるのでしまりのない国民になってしまった。

厳しさが無くなったのだ。「いいじゃあないか」と叱らない世の中になってしまい、国民から敢闘精神が消えてしまったのが現在の日本の姿。

ここで、筋金入りで日本のビジョンを語り、理念を持つ政治家が欲しい。「総理は大したものだ」ということになって欲しい。政治の混迷と低迷が世界における日本の地位の低下をもたらしたのだ。なんとかしないと日本経済は評価されないため沈んでしまうのではないのか。

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
おかやま適塾(塾長)

馬場 勉

2月3日は節分でした。最上稲荷で豆まきを棧敷の上からしました。今年は、例年になく4万人の人出があつて多かつたようです。というのも、節分が日曜日に重なつたのと、還暦を迎えた人が日本の人口構成で一番多い年齢層に当たるためのようです。

次の日は立春でした。今が年間で最も寒い頃です。今年は岡山市で雪がちらつくことも多く地球温暖化といつても寒いようです。冬の京都は、寒いのですが観光客が休日等はいっぱいホテルが満室です。

「人生に乾杯」ではないのですが、ふと我に返つてみて、現在の私は自分の人生において一番忙しく健康かつ充実している時期のように思えます。「おかやま適塾」のようにみずからやっているものなどを含めやることは多いのですが、決してイヤだとか辞めようとかは思いません。楽しく取組んでいる毎日です。大器晩成型？だったのかと思ひますが、これから10年間は、現役を貫いてやりたいと考えています。ご支援の程重々よろしくお願ひします。

一生懸命

平成20年2月6日 馬場 勉



## 円高・株安の日本経済を立直せ！

### 国民の敢闘精神を覚醒させ呼び戻そう

「三寒四温」。確実に春が近づいています。世の中を「せんたく」する必要があるかも。

#### 1. 岡山の女性は強い

北京五輪日本代表を決める名古屋国際女子マラソン（最終選考会を兼ねる）で、「てんまや」の中村友梨香選手（21歳）が初マラソンで初優勝した。五輪代表となった。

岡山勢は、バルセロナ大会で銀・アトランタ大会で銅の有森裕子、シドニー大会の山口衛里、アテネ大会の坂本直子に続いて五大会オリンピック連続の栄誉となった。てんまやは三大会連続の栄冠。

出身は隣の兵庫県であるが、武富豊監督（おかやま適塾で初回に講演して頂いた）を慕って岡山に来て、午前中は天満屋の仕事をしながらの快挙である。老舗百貨店の天満屋だが東京の人などは岡山の「てんまや」は何屋さん？と聞かれるほど地方色が強く、有名ブランドの会社の選手が多い中であって、地道に先行投資してスポーツを支えてきている地域企業を評価し応援したい。

女子マラソンだけでなく、男・女のサッカー、バレーボール、野球なども岡山県に存在している。たくさんありすぎて支援する企業も大変だ

ろう。一層のこと、企業等の支援金をプールして配分する方式も考えておく方が、無駄が少なくていいかもしれない。官庁の補助奨励金も出しやすいだろう。

それにしても、岡山の女性は根性があり強い。岡山商工会議所だけに限らないが、女性会という組織もたくさんあるから女性の声を大切に汲み取り政策に反映してもらいたいものです。

選挙は、女性の力が重要とのことですが、特に女性の底力と粘り強さが潜在的にある岡山にあっては、女性に好かれることが大切なようです。口コミで広がりますから要注意です。

しかし、忘れてならないのは口先だけのきれい事（マニフェスト＝公約）は逆効果です。心の底から岡山を思う優しさと、岡山の発展を真摯に考えている人を望むようです。「ファンは誠実を愛す」を忘れずに。立候補諸氏の奮闘を祈ります。

#### 2. 円高・株安に対処すべきだ

素人の私が、円高と株安の相関関係を話すのははばかりが、交換価値の比重が円に重くなるため円高と表現される。ドル建てで貿易をすれば、円安の時は多くの日本円が手に入るが、円高になれば懐には日本円が少

なくなる。円高は海外旅行や輸入品の場合は都合がよい。反面、輸出企業等から見れば困ることになる。

株は、日本国内だけでなくグローバル化している。外国投資家が、日本の株市場の半分以上（70%に近い売買額）を占めている。常時、世界中をお金が回っている。円高になれば輸出企業にとっては収益の減少が見込まれるから、先を読む株式市場は敏感に反応して株安になる。という理屈らしい。為替リスクを考えず、金利がよいからと外国債等を買っている人は、元本が円高で目減りすることにより結果的に損をしたことになる。日本に貯蓄されているお金が、日本国内でコップの中の嵐のように循環するのがよいのだが…。

ところで、なぜ日本の株は不安定で大暴落しているのだろうか？米ドルの価値が下がったことも影響している。いずれにせよ、昨年から今年にかけて国家予算の一年分に匹敵する程の資産が泡となって消えてしまったようだ。まだ続行中である。

日本経済はしっかりせよ！総理は、他人事のように「株価は上がったり下がったりするものだ」などどうそぶいているが、経済力の本質を考えるべきであろう。真剣さが足りないぞ！国民は怒っているから、政権は長くないだろう。 (20・3・10)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
おかやま適塾(塾長)

馬場 勉

急に春らしくなってきました。年々歳々例年通り時をたがわず桜は咲くはずです。3月も半ばを過ぎ、みなさん年度末で多忙なことでしょう。これも日本の年中行事ですから、いつものことと思えばよろしい。

3月12日に「おかやま適塾」がやっと1年を無事通過しました。内輪の祝いをささやかにしたところです。来る5月から8月までの日程表をこれから作成します。人材は確保出来ますがお客様が会場に足を運んでいただける戦略を練って、4月に入れば多面的に実行に移すことにします。ご協力の程を願い申し上げます。

3月末には、仕事に尽力してもらった我が社の職員と沖縄に癒しの旅を計画しています。4月以降、取材旅行を兼ねて旅に出る予定ですから成果を随筆調で書いてみたいのです。

いずれにせよ、充実した日々を送ることが病氣予防になるのではと考えています。昔の人はいいました「病は気から」と・・・。



## 一極集中のなかの一極集中

### 地域・貧富の格差社会はさらに拡大する

友人が、60歳過ぎて急逝した。庶民だったが、多くの参拝者にびっくり。死んだ時に人柄が顕在化して人物評価される。

#### 1. チボリ12年間の教訓

チボリはどうなるのだろうか？それぞれがそれぞれの立場で主張する末期的症状がうっとうしい。責任を取りたくなくてなすりあい。

金の切れ目が縁の切れ目というが、まさに地で行く感じ。多額の金を浪費して残り少なくなった。このあたりで手を引きたいという気持ちが強いと印象づけられる。

先日の株主総会では発言者がいた模様だが、私が一番残念に思うのは、12年の間には取締役会や株主総会もかなりの数行われてきたはずなのに、一体どのような運営がなされたのでしょうか？

株主も主張すべきだった。会長や社長ほかの人も責任を果たすために情報を公開しなければならなかった。

結局のところ、言うべき時に、言うべき場所で、発言や主張がなされなかった、あるいは、本気で対応しなかったのが原因でしょう。

そういう意識の下で、地域と共に地域活性化を目指して立ち上げたのが「おかやま適塾」です。宗教と個

人攻撃はご法度ですが、何を話されても一切責任は問わないという立場を貫いている。講演して下さった方も、いい機会を与えてくれてありがとうございますと感謝されています。

自分の生い立ちから始まり、どういう仕事をしてきたか、これからどういう生き方で臨むかなど、大変有益な話が多いのです。若い人が先輩の生き様に接して感動を覚え、自分も頑張りたいとアンケートに書いている人もいます。将来的には、ケーブルテレビだけでなく、一般のテレビでも放映し、多くの人に感動を共有して欲しいと思っています。

企業メセナの一環として、また社名広告として、参画して下さいと考へており、必ず実現させたい。その節には積極的なご支援を賜りたい。

#### 2. 雪だるま的に増殖する

東京へ一極集中している。その中であって、丸の内・銀座界隈にさらに集中している。新宿などの副都心の地盤沈下が家賃に反映している。岡山だって同じ。岡山市の人口は社会増しているが、県下の市町村は衰退が進行中である。限界集落から国土崩壊への道程が時間の問題のところもある。

岡山市においても、岡山駅を中心

に一極集中が進んでいる。表町その他周辺がさびれているように思える。岡山市のように小さい規模の市で集中が極端になると惨めだ。

行政は、市場原理に任せるなどとのんびりしたことを言っている時ではない。政策的に手を打つ必要がある。そのあたりの見識が、行政担当者になればなるまい。全県あるいは全市の立場で税金等財源の再分配を行政が行うべきだ。

一極集中は二極化を生み、さらに一極集中が進めば格差が極端になる。格差問題に鈍感であれば、共産主義思想が再度芽生え、政変が起こるかもしれない。歴史は繰り返すから。

オイルマネーの行き場として集中投資されているのが「ドバイ」だろう。10数年前まで砂漠であったところに、観光と金融を目的にした摩天楼が出来ている。不動産バブルが進行中。いつかは弾けることを投資家は学習している。金融危機が起きれば不動産の投機マネーは引き揚げられてたんす預金になる。

水の値段と原油の値段を比較する人がいるが、水は世界中至る所へ富を分散させる。原油の富は限られた地球上に集中するから投機マネーとして動くため、世界中の庶民の生活をめっちゃめっちゃにする。

(20・5・27)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
おかやま適塾(塾長)

馬場 勉

地球温暖化が問題になっている。しかし、今年の北海道は冷害が心配されている。寒くて雨が早く日照不足のようだ。地球全体のサイクルの面から、CO<sub>2</sub>の排出を抑えるのはよいが、温暖化と因果関係があると結びつけるのは短絡的発想だと思う。地球の歴史からみればそう単純ではなさそう。

また、岡山県は蓄えていた金を使い切ったので、財政再生団体に転落する懸念があると宣言。いまさら何を言っているのでしょうか怒り心頭です。

県知事のやっていることは、よくわからないことばかり。「世直し」が必要です。

まず「隗より始めよ」です。借り上げタクシーに転換したり、知事ほか偉いさん達がビジネスクラスやグリーン車に乗るのを止めたらよいのではないか。乗りたければ、自分で追い金を払うようにしたらどうか。



## 県民は怒り心頭。「憂県の士」が「世直し」を！

### 「財政危機宣言」月給の遅配も視野に

「誰でもよかった。殺したかった」と無差別の通り魔事件（10年間で67件）が多い。世の中がいやになったとは困ったことだ。教育や格差など、根の深い社会問題が潜んでいる。

#### 1. チボリ問題は知事選挙後に

倉敷チボリ公園を完全民営化する案が主張され、賛同者や応援団も旗を振り出し、ことは流動的になってきた。倉敷市長選により、市長や市議会議長が入れ変わったためすぐには対応できない模様。

現知事の任期は11月11日限りだから、10月下旬には選挙があり新知事が決まる。だから、新しい知事の下で、岡山県の方針を決定すればよい。何れにせよ12月31日までは、現状が維持できることになっているから、選挙後で対応できる。

対応策としては、県がチボリ・ジャパン社に転貸しをして、チボリから一切手を引く。債務保証等の確約を厳格にするため、公正証書を作成して法的にもはっきりさせる。株主の大半は、話せば分かるだろう。将来の岡山県の集客の核の一つとして広域観光に必要な施設であるから。

約束した期限内にタイミングよく県知事選があるので、争点にすればよい。小理屈を述べまくって、自分

を正当化するのは、聞くに耐えない。もう懲り懲りだ。

#### 2. 県民を愚弄するのか

県議会は、各会派何れも怒っている。県民だって怒っている。石井県政12年は何だったのか？

貯金は全部食い潰した。なおも弁解しているにすぎず、県民は不愉快の極みである。さらに4選に意欲を燃やし、策士よろしく時期を見計らって「財政危機宣言」をするに至っては、県民に真実を公開せず欺いたことになる。策士が策に溺れてしまわなければよいが…。

私が、平成つれづれ草第119回において、NHKの番組でフランスの銀行が大阪市には融資をしたのに、岡山県には融資をしなかったと書いたところ、県知事は、他人を介して圧力をかけてきた。

そうこうしているうちに、(株)格付投資情報センター（R&I、東京都）という投資会社が、県をAAに格付けしたため、知事は自信たっぷり県財政の健全化を述べた。

どちらが正しかったのかは明らかで、フランスの銀行は全世界の地方公共団体へ長年にわたり融資をしているためノウハウがある。よって、岡山県は危ないと判断したので融資

をしなかっただけのこと。

然るに、日本国内の地方公共団体を格付けしているR&Iは、十分な資料分析もせず、馴れ合いで格付けしたのだろう。格付けを信用した者から、損害賠償が請求されるのを覚悟しておかなければなるまい。

なぜ、岡山県をAAの格付けにしたかについて、納得のいく説明をすべきだ。当該格付会社は、今年中で業務を止めるらしいとの情報がある。

県の手元には、9億円しかないとの事だから、6,000人近い職員の1カ月分の月給も支払えない状況。銀行等は、高利でないと融資を断るだろうから、月給は遅配することも現実味を帯びてきた。

県の借金を減らす方法はある。県知事公舎や職員住宅などの普通財産を不動産証券化により信託し、金利をリース料として支払って、借金返済に充てる方法だ。将来買い戻せばよく、実際の使用になんら不都合は生じない。

また、幹部がビジネスクラスやグリーン車に乗る必要はない。さらに借り上げタクシーで経費削減をすべきなのだ。

まず「隗より始める」こと。会社であれば社長以下、幹部が解任されることは間違いない事態だ。その覚悟やありやなしや。（20・6・9）

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
お か や ま 適 塾 ( 塾 長 )

馬場 勉

から梅雨かと思いきや、うっとうしい空模様になってきました。安定した天気になるには、もうしばらく時の経過が必要なようです。

世界も日本も景気は、減速気味。食べ物を燃料に加工するなど、通常人は想定していなかった事ですが、現実に行われています。食料危機が物価上昇をおこしています。

不況の中の物価上昇ですから始末が悪い。ところで、ガソリンが値下げのときは蔵出し税だからどうのこうのとやかましかったのに、値上げするときはほぼ一斉に値上げしています。申し合わせているのでは？公取はカルテル等の違反行為として取締りをしないのでしょうか？どうも腑に落ちないことです。

岡山の政財界の行方も、流動的でどうなるのか不透明です。官庁頼みの時代はすでに終焉しましたから、政治家や県・市を頼りにしないで、自助努力で精一杯頑張らしましょう。



## 「ヤル気」と「情熱」が生気をみなぎらせる 働くことがいかに大切かを知って悟る

梅雨明けも間近。本格的な夏の到来。今年は、暑い夏の予感がする。

### 1. 「楽しい話」のご依頼あり

岡山には、ウツウシイ品格を疑いたくなるような話が多過ぎると、岡山の企業などを回っているマスコミ関係の人がコボしていた。私の文章も、面白くもおかしくも無いものが多くてつまらないと反省しきり。

彼曰く。「少し楽しい話を書いてくれませんか」とのこと。楽しい話と言われても…。旅の話をリクエストされているが、名案は浮かばない。

確かにウナギの産地偽装をはじめ、お金になれば何でもやるという人が多過ぎる。○△産と表示してあっても、本当かなと疑いの気持ちが湧く。非常に困ったことで、子供の教育にも良くないし、影響は甚大だ。大人の責任は大きい。

本格的な夏になるから、涼しい所に旅するのも良いかも。海と山が定番だろう。岡山県内にも至る所に良い所はあります。わざわざ北海道や沖縄にまで行かなくても、隠れた名所旧跡や自然を楽しめるところが結構ありますから…。

どのようにして探すかだが、昨今は“旅”を特集した雑誌やホームページ等で気軽に検索できる時代です。

逆に、美術館や水族館など屋内で楽しめるものもあります。見るだけでなく体験型の物もありますから、「山伏修行」はいかがですか？

座禅をして瞑想にふけるのもよい。何か思い出に残るような経験することをお勧めします。四国八十八カ所巡りも忘れないで下さい。山岳仏教だったお寺さんは、山の上であって涼しく昼なお暗いです。

「おかやま適塾」もためになり楽しいですから是非どうぞ！

### 2. 「働く」ことは良いことだ

たまたま、目にとまったのが7月4日付の産経新聞。元赤軍派議長、塩見孝也さん(67歳)に関する記事。

昭和40年代半ばは、騒然とした世の中だった。団塊の世代以上の人であれば、赤軍派といえ一世代を風靡したので知っているはず。武装闘争を叫んだ超過激な集団だった。

19年9カ月の獄中生活をした筋金入りのリーダーだったのが塩見さんだ。「日本のレーニン」と、もてはやされた。現在の様子が紹介され、心境が赤裸々に記述されていたので興味深く読んだ。

少し前から、東京の清瀬市シルバ一人材センターに登録して、市営駐車場で月に9日程、汗を流している。

「この歳になって、ようやく労働の意義を実感している。息子が『親父がまともな仕事をするのは初めてだ』と喜んでいる」とのこと。

何を今更と思うが、ずっとカンパや講演料に頼って生活してきたそうだから、優雅な生活が身に染みていたのでしょう。

しかし、昨秋に病気になったのがきっかけで、もっと自活能力を付けて地に足の付いた生活をしながら「革命を追求したい」と働き出したとのこと。

塩見さんは「働くとは、すばらしいことだ。理論だけでなく実践したらい」と、自分自身の初めての労働に嬉しそうだ。彼を通して、普通人の平凡な営みがいかに大切であるかを、改めて認識させてくれる。

また、「僕のこれまでの生涯は民衆に奉仕するというより、民衆に寄生してきた。だからこそ、自己労働をいくばかりかでもやり、本物の革命家になりたい」とも言う。

公務員諸氏は、本人は一生懸命国のために働いていると思っているのだが、国民に奉仕するというより国民に寄生していると思われたいようにしてほしい。

「自今生涯」すなわち「今からが我が人生の始まり」という前向きの姿勢で働こう。(H20・7・7)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
おかやま適塾(塾長)

馬場 勉

今朝、今年初めて？セミの合唱を聞いた。当分の間、蝉時雨に悩まされなければなりません。街中ですが、農業用水が流れ木が茂っていたりするものだからセミが多く、毎年のことながら、すごいセミの声に、風情どころではないのです。

梅雨明け宣言がようやくありました。すでに真夏です。今年の夏は暑い予感がします。“夏休み”は、特に決まりがあるのではないのですが、お盆休みが中心になります。岡山もウラジャ祭りなど、夏の趣向を凝らしたものが行われています。私は、ただいま夏休みについて思案中ですが、「京の夏の旅」か「阿波踊り」と、いつもの定番に落ち着くのではないかと考えています。

予告になりますが、「おかやま適塾」がすでに30回を越え、9月以降より12月までの7人の人選も済み、日程調整中です。過去の分を含めてホームページに「動画」として公開したいと思い、現在、鋭意作業中です。協賛企業(スポンサー)等を募集しますのでその節は、よろしくお願ひします。



## 幕引きは知事が自分でやるべきだ。

### 岡山県民は誠実かつ正直に対応する人を好む。

暑さを吹き飛ばすカミナリによる激しい雨。今年は暑いから、まだ積乱雲によるカミナリが鳴るだろう。

#### 1. 歴史に学ぶ

1930年代(昭和5年～)は世界恐慌から始まって日本恐慌へと経済は不景気のどん底時代へと。世界は、戦争へと突き進んだ。

大学は出ても就職できない。東北地方はみじめさが深刻で、貧困のため娘を売る生活を強いられた。青年将校が世直しを叫び政治家を標的に5・15事件(犬養毅総理が暗殺された)が起こるなど、騒然とした時代であった。

当時、政治を変えるという「憂国の士」はいたが、無差別に一般人を誰でもよいからムシクシした気分を晴らすため手当たり次第に殺すということは無かった。

バブル崩壊後、就職できなかった世代の人が、フリーターなど定職がないため世の中を逆恨み、あるいは、家庭崩壊が原因、さらには、些細なことで切れるということが事件の背景らしい。忍耐力が乏しく足腰が弱いということも確かだ。

どうすれば、世の中を無差別殺人から救えるか。政策も色々揃えられているようだ。教育に基本的な欠

陥があったともいえる。しかし、それだけで、解決できる問題ではあるまい。やはり、日本の過去の歴史を学び、時代を対比させてどうするかを考えることも大切ではないか。

労働の大切さを、身をもって示すことが若年層を立ち直らせる一方策ではないかと思う。各層の老若男女が、真剣にどうするべきか考える時だ。

#### 2. 事業にも“こころ”がある。

「おかやま適塾」でチボリ・ジャパン社の坂口社長が講演した。

「事業のこころ」とは、すなわち◎お客様のこころ◎社員のこころ◎株主のこころ◎近隣の方々、県民、市民のこころ◎取引先の方々のこころ、等々だという。

言われてみれば、その通りである。私は若干名の職員を雇用し、専門的な仕事を30年以上やって今日に至った。考えてみれば、“こころ”がそれなりにあった。これからも、“こころ”を大切にしたいと思う。

翻って、チボリ問題を思う時、今の公園を大切に継続していきたい、あるいは形を変えて残したいと真剣に考え努力している人達が多い中、県税を投入するのだからもう閉園にしようという考えもある。

いずれもそれなりに説得力がある。ただ、チボリ公園は、岡山県が「総合福祉計画」の一環として始めた公園であることを忘れてはならない。

事業は、成功することもあれば不成功に終わることもある。成功しなかった場合に解散したいと思うのも人情である。問題は岡山県が始めた事業だから、幕引きも岡山県の代表である石井知事がみずからの手でやるべきだ。

しかるに、自分の口からは閉園を言わないで周りの取締役に解散の動議をさせて、自分はいい子になりたいという姿勢に対して、反感を抱いている。

株主代表訴訟を恐れているらしいが、どうあがいてもどのような小手先の手法をとっても、チボリ・ジャパン社の会長であって指導的役割を果たしてきたのだから、道義的にも法律的にも逃げることはできないのである。

結論的には、知事自ら解散の発言をして、実際に解散するのが一番よい方法なのだ。解散後どうするかについては、県は考えなくても、すでにある程度方針は煮詰まっている。

要は、「ああいえばこういう」人はいない方が話はしやすいし、次のステップに進めるということなのだ。

(H20・7・30)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
おかやま適塾(塾長)

馬場 勉

あす8月2日から“おかやま桃太郎まつり”がはじまる。「花火」と「うらじゃ踊り」がメイン行事。関係者の話では、後始末のゴミ掃除が大変なんだそうだ。一度やればうんざり。もうやりたく無くなるようだ。そういう関係者の努力で成り立っている。裏方の涙汗の流れる労をねぎらいたいものです。

今年は、夏が暑いから“路地もの”の果物が沢山取れそうだ。日照は良いから甘さはあるはずだが玉の大きさはどうだろうか、値段も気になる。白桃はお盆前後がヤマ場。食べることは楽しみであるから、夏を満喫しようではありませんか。

チボリの話は飽きてきたので、そろそろ卒業したい。将来的には、三井不動産の計画になるアウトレットモールを主流とした、チボリ公園を一部残しつつ併用する商業施設等が出来上がるはず。私の予測が、当たり未来永劫に成功しますように祈っています。



## 完全燃焼。勝って涙、負けても涙。

### 新旧交代が鮮明になった北京オリンピック

女子マラソン日本代表、中村友梨香の力走を足摺岬のホテルで見た。残念だったが、経験を積めば4年後のロンドンでは、金メダルが取れる。

#### 1. 灯台下暗し

今年の夏の暑さには参った。だが、そのおかげで白桃・ぶどう等の果物は、糖度も高く収穫は上出来。山海の珍味が多く、果物・野菜等に恵まれている岡山ではあるが、地元民が知らない食べ物も結構ある。

5～6年前から、「桃太郎ぶどう」と名付けられた大粒のぶどうが開発された。贈答品が主流だったので岡山の庶民は知らず、口に入れることも無かった。とある会合でしっかり食べたところ美味しかった。

また、「青うなぎ」という岡山の天然うなぎがいることも知らなかった。吉井川の下流などにおいてシャコを食べる贅沢なうなぎ。ウツボに似た面構えをしているうなぎ。先日の会合でいやというほど「青うなぎづくし」で食べさせてもらった。

養殖うなぎのように脂濃くなく、かなりの量を食べても飽くことは無い。地物のうなぎは量が少なく、値段も高いため、県民の口に入る機会が少ない。残念の極み。

田舎の「道の駅」に立ち寄れば、

地元の珍しい物に出会えることも多い。「道の駅」は秘境といわれるようなところが、都会の人にとって珍しい。良い地物がある。田舎もガンパッテイル。雇用の場も提供している「道の駅」は商売繁盛している。

人の幸せは、東京など経済的に優れたにぎやかな所に住むのも結構だが、田舎で自分たちで作ったものを都会の人に活用してもらおう。さらに食べてもらうのも「生きがい」であろうかと思う。田舎の人のほうが心豊かに幸せなのかもしれない。

#### 2. 女性優位の日本選手団

テレビに露出されるオリンピック出場日本人アスリートは、女性が目立つ。女性の方が元気が良い。

岡山の天満屋所属の中村友梨香選手は13位に終わったが、将来に期待が膨らんだ。9月10日の「おかやま適塾」に武富監督と共に出演していただくことになっているのでぜひおいで下さい。演出は考慮中。

演技を終った時やメダルを掛けて出演した時の“生の声”には実感がこもっている。嘘隠しのない心情を吐露している。4年間の必死の努力をした人から発せられる言葉ゆえ重みがある。聞く者ももらい泣きする

場合だってある。

真剣に試合をしている時の顔付には眼光鋭く、引き締まった体に恐ろしささえ覚えた。感動を与えてくれる。「長くもがく種目」がケイリンといった選手がいた。思うに名言。

ところで、私は陸連という組織とは縁が無いが、天満屋の森本友さんを女子マラソンの補欠として任命していたのだから、出場辞退した選手の代わりに走るものと思っていたらそうではなかった。7月末時点で出場者(補欠者)の届出を国際オリンピック委員会にしなければならぬのに申請しなかった。さらに7月末時点で補欠の拘束を取り消していた。

危機管理の欠如は遺憾ともしがたい。すなわち、◎3人の健康状態を事前に把握していないのか。本当は知っていたのでは?◎本番までに何が起るか分からない。特に女子の場合はデリケートだから、補欠の申請をしておくべきだ。いざという時は、代表選手の入替えをするのが当然の責務だと思う。

補欠を申請もせず内定を取り消して、後は自由にやれということになれば、補欠選手は目標を失って気分も緩む。いきなり代わりに走れといわれても無理。だから、武富監督の一連の判断は妥当であった。

(H20・8・20)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
おかやま適塾(塾長)

馬場 勉

今年の夏は、ことのほか暑かったので頭がポットしていたこともあり、また、お盆に阿波踊りと八十八カ所巡りをしていたため、うっかり送信するのを失念していました。遅れましたが、北京オリンピックのことを書いていますので御一読下さい。

9月に入り、政局は不安定。経済も混乱し株価は低迷しどうにもなりません。賃金は下降気味なのに、物価は上昇しています。原油へのファンドの投資劇がそもそもの問題の引き金になった。そのため、本来人が食べる穀物がガソリン等に変質され利用されるなど、穀物価格が高騰するなど良く分からない社会現象です。

さて、「おかやま適塾」では来る9月10日(水)夜18:30～20:30迄、さん太ホールで北京オリンピックの女子マラソンで全力疾走した中村友梨香さんと武富監督を迎えてトークします。都合をつけて是非おいで下さい。お待ちしております。楽しい話が聞けますよ～。





## 政治の世界、一寸先は闇だ

### 無責任がまかり通る日本、特に岡山

9月に入った。過ごし易い時候になった。今年は残り4カ月。政治、経済の混乱と不安定は困ったもんだ。

#### 1. 重要選挙“秋の陣”

現職、石井知事の立候補のみかと思われていた岡山県知事選（10月9日告示、10月26日投開票）に、民謡に造詣の深い“ちくわ奏者”で経営者の住宅正人さんが立候補表明、さらに有力な予定者がいるとの観測。

がぜん面白くなった。「おかやま適塾」主催で立会演説会をしたいと思っている。選挙戦を盛り上げて投票率向上に一役買いたい。

また、福田首相が9月1日夜退陣表明。びっくりした、というのが世評だが、私はさほど驚かなかった。変化の激しい時代だから、何があってもすぐ対応できる心の準備は、おこたらないよう心がけている。

早かれ遅かれ天下分け目の戦いは訪れる。政権交代はあり得ることだ。自民党は長年の政権維持で疲労困憊している。民主党は政権に手がかかっているが如何せん人材不足。地方の足・腰が弱い。長い間、野党に甘んじていたため実績不足が目立つ。

いずれにせよ、経済や政治の停滞は日本のために良くない。非常に困ったものだ。大胆な変化（チェンジ）

が必要だ。県知事選もチェンジを選ぶか現状を維持するかの選択の争い。安定していると思われている政治家さんも逆風にさらされる“秋の陣”になるのではないかな？

“まさか”という結果になる可能性が大であるから油断大敵。準備を怠らないこと。要は将来を見越した関が原の戦いになるのではないかな。岡山は国政選挙に目が移って県知事選が埋没してしまうことを恐れる。

#### 2. 百聞は一見に如かず

「おかやま適塾」は一回目から蓄積した講演が30回を超えた。音声のみのものも含めれば講師は50人以上になる。

これらを公開することにより岡山の文化芸術・学問・協会活動・スポーツ等により、地域活性化に役立つだけでなく、ひとかどの人達の生き様、考え方、日常生活の行動形態等を知ることによって、若い人には刺激となると共に励みとなる。

そう言った思いで、ホームページ <http://okayamatekijuku.jp> で動画を発信中であるから、インターネットを通じて地球の裏からでも、何時でも何処でも見ることができる。是非ご覧下さい。

主催者からのお願いとして、社員

教育の一環として、あるいは公務員等においては視野の広い生きた教材として、仮に日常業務が多忙であっても「知識や知る楽しみを得る」ために活用して欲しいと思います。

特に、数千人規模の企業では、社長の顔も声もましてやどんな考えの持ち主かなど、人柄も知らない社員等も多いのだ。

雇用形態が複雑化して正社員のみではなく、非正社員が多く一緒に働いているから、共通の認識や会社等のために尽力するという気持ちの高揚を共有するためにも、社員等が動画を見ることにより、会社の活動等を再発見して欲しい。

職員等に動画を見せて、レポート等を提出させるのもよい。本を読んだり、日常業務に専念するだけでは、広い視野に立った知識とか、人間の持つオーラは知りえないと思う。会場に足を運んで肌で感じる、あるいは、動画を見て感動するというのが良いのではないのでしょうか。

私は、社員教育あるいは公務員などの研修として、会場におもむいて参加させるのがよいと思う。ひいては社員の人物評価、人事考査の参考にもできる。身近にいる人に教えられることが一番大切で重要なのではあるまいか。

(H20・9・2)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
おかやま適塾(塾長)

馬場 勉

朝夕しのぎやすくなりました。やはり秋になりつつあるのですね。

にわかには選挙の声が聞こえてきます。県知事選は確定済み（10月9日告示、10月26日投開票）ですが、衆議院選が近々行われることになりそうです。衆議院の解散が早まり10月26日投開票の県知事選と同時に行われれば、投票率も高くなり経費は億単位で安くなる。果たしてどうなるのでしょうか？一寸先は闇で約束できません。

岡山市が政令指定都市になるのは時間の問題ですが、岡山市中心市街地をコンパクト都市にするための青写真を書かなければなりません。然るに、全然前に進まず議論も棚上げです。これからは複合型の多目的かつ高層ビルを市の施設とするべきでしょう。単体のハコものはもういりません。能率的かつ効率のよい複合的仕様の建物の時代になります。



## 元気で100歳までガンバろう！

体力を鍛え、気力の充実が原動力になる。

秋たけなわ。夏が暑かったので果物の出来が最高。自然の恵みを、素直にありがたく享受しましょう。

### 1. 百歳バンザイ！

NHKに「百歳バンザイ」という番組がある。敬老の日（9月15日朝）の特別番組を見た。百歳以上の方の話には重みも説得力もあった。

百歳以上の方が、3万人を超える。長寿社会の日本にあって元気に現役で働いている天与の人材。1億人余の人口から見れば一握りの人ともいえるが、非常に参考になった。

人生の先達。「学」のある無しに関わらず一筋の道を究め、精進している人の話には無駄が無く、万人の心を打つものがある。

出演者は、すごいパワーの持ち主。

◎身体を鍛えて鉄人アスリートで円盤投げ日本一人◎英語と共に88年を過ごした。綺麗な発音で英語を教えている人◎水墨画家として、構想を練り一気に水墨画を書き、お弟子さんに教えている人◎山田耕作の弟子で、音楽家の女性。プロの人を対象に指導している人◎名誉教授ながら、手作り玩具をひろめるために全世界を旅している人。

先達の人生訓は、単刀直入だ。

◎当分、死なれん◎親と子が一緒

に作るこれぞ教育◎クヨクヨしないこと◎まだまだ102歳は青年。これからもガンバル◎百万の味方があれば、楽しみが湧く◎身も心も使えば使うほど光る◎感謝◎前進することは元気だ◎無我◎歌はお話◎きついのが楽しみ。記録を伸ばす努力を惜しまないこと◎自分が楽しいからやる◎毎日少しずつ続けること一等々。

ところで先日、作家の瀬戸内寂聴さんが岡山にみえて講演会があった。岡山市民会館いっぱいの約1700人を前に張りのある声で熱弁をふるわれた。ほとんどが中年以上の女性と思しき方々で男性は少なかった。

さて、質問の時間が設けられて手がたくさん挙がった。私も「86歳と言うことだが、平均寿命だから“たいしたことは無い”これからは社会貢献に努めてほしい。今の社会は混乱しているが、世の中が良くなるには如何にあるべきかを教えてほしい」旨を話したところ、“たいしたことは無い”という言葉が心証を害したらしく反論された。そんなにもきになることも無いだろうと思ったが…。

百歳バンザイの人達のことを考えれば、「たいしたことは無い」。長生きして社会に更に尽くしたいと率直に答えれば、もっと寂聴さんは光り輝きますよ。

「世の中が乱れているのはアメリカ流の考えや様式を取り入れ過ぎたためであって、日本の伝統的文化を大切に基礎とすべきである」旨の回答であった。

### 2. 同日選挙の公算大か？

想定外のことが、次から次におきるものだ。岡山県知事選挙は10月9日告示、10月26日投開票と決定済み。しかし福田退陣により自民党の総裁選挙が行われ、麻生氏が総理になる見込みで、衆議院が臨時国会冒頭に解散されれば、10月26日投開票ということになる余地がある。

県知事選と衆議院議員選が重なれば、県知事選の結果はどうなるのか興味のあるところだ。投票率は高くなる。岡山県民は、県知事選にどう対処するのか？

チェンジ（交代）を望むのかどうかだ。選挙は水物だから、人のちょっとした心の揺れで結果が大きく左右される。同日選挙であれば、選挙費用が億単位で安くなるようだ。経費削減になり県の台所は助かる。

「おかやま適塾」主催で立候補予定者の立会演説会をしたいと申込んでいるのだが、時間が取れないとの理由で、政策や主張の機会が断ち切れになりそうだ。残念の極みです。

(H20・9・16)

㈱馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
おかやま適塾(塾長)

馬場 勉

「秋分の日」を迎えると朝夕めっきりしのぎやすくなりました。

久しぶりに、“六本木ヒルズ”の展望台にのぼりました。当ビルの入場者数が減少傾向にあるとは聞いていましたが、窓際にイスやテーブルが置かれています。要は、ゆっくりお茶を飲みながら大東京を展望して下さいということらしい。開店当時はガラス窓にへばりついて外を見ていたのですが、そういうことのできる空間の場所は少なくなっていました。「通過型から滞在型」に展望台が変遷したようです。ということは、お客が少なくなったので一服して休んでもらって、お金を落として頂くということか。チャッカリしていますね。確かに最近は、次から次に東京都心には新しい名所が出来ているから、何時までもお客集めの刺激は続かない。チボリ公園の魅力不足はそういうところにあったのでは？それにしても雨上がりの東京の夜景は素晴らしかった。

平成20年9月24日 馬場 勉



## 心静かに一喜一憂するな

### 歴史に残る政治・経済の大混乱の真っ只中。

9月が終わった。例年になく台風が少ない。爽やかな秋を迎える。「おかやま適塾」で秋の夜長“知るを楽しむ”勉学に勤しみましょう。

#### 1. 「日経テスト」受験記

誰に依頼され、あるいは強制されたわけでもないが、先日、日本経済新聞社主催の第1回「日経テスト」なるものを受けた。

いきなり本番。現在の實力は散々。知っていることについてはやさしいのだが、知識不足のものは手に負えなかった。100問を80分で解くのは時間的に厳しい。1問1分はかかると思う。時間切れでアウト。

「日経テスト」は知識と考える力により、経済知力の尺度を測ることを目的としている。春と秋の年2回行われる。

大学の階段教室で受験。結構窮屈に感じた。学生の時はスレンダーだったから、特に座り心地に問題はなかった。カップクが良くなったのとあまり硬いイスに平素座らないので今の体格ではきつかった。

「日経テスト」は就職活動の武器に使えるのではないかと、1000点満点で、高得点を取ったということになれば、経済的知識と視野が広く、かつ学問好きな若者と評価される。

また、採用側からは有力な人物評価の参考資料として利用できる。必要以上に高得点は必要でなく、一定のレベル以上あれば“よし”とするのが正解。経済のことばかりに専念してはダメだから。

まず、自発的に受けてみたいという好奇心と勉強する姿勢や真摯な態度は買ってやればよい。意欲的で積極的な若者は、社会に出てもそれなりの努力をする。

#### 2. 世の中なんとかならぬか

政治・経済・社会いずれをとってもなんだかおかしい。

◎政治は、小泉内閣以降1年程で続けて投げ出した。安倍・福田さん！辞めればよいというものではありません。麻生さんは、主流は仲良しを集めて組閣したようですが、早くも確信犯的発言で更迭劇。

勇ましい中山大臣の奥さんは拉致問題に精進され、癒し系の優しい話し方をするあの有名なお方でした。

衆議院は、いつ解散になるのかと話題になっている。天下分け目の“関が原”以上。日本の将来を決める重大な選択です。また、岡山県知事選は10月26日にあります。立候補者は、面白い組み合わせです。

県民の選択は、チェンジを望んで

住宅氏へか、いや実績があつて有能な石井知事か、さてどうなるのでしょうか。新風が吹くか否か、やってみないと分かりません。

◎経済は、100年に一度といわれるような想定外の事態で一喜一憂です。株の乱高下は経済がよく理解できて勉強になります。ブラックマンデー、あるいは、同時多発テロの時を越える史上最大の株の下落です。

“金融工学”という実学により、頭脳明晰な人達がコンピューターを駆使して作り上げた金融派生商品が、大手証券会社の倒産を誘発しました。

サブプライムローンという不良債権を忍び込ませていることは“事故米”などを混ぜたのと同じ手口。人間が欲と守銭奴になって、人間の誇りとか生命の尊厳などお構い無しでやりたい放題をやればいつかは天罰が当たるはずです。

◎社会問題は根が深い。分からなければ何をやっても良いという思想や風潮が蔓延している。

小泉元総理は「人生いろいろ」と辞めればそれまでですが、小泉さんの後始末で本当に困っています。パブルが弾けたのと同じ。後継者に二男を推薦するに至っては、かつては勇ましい変人であったのですが、所詮は“ただの人”でした。嗚呼。

(H20・9・30)

（株）馬場総合鑑定所（不動産鑑定士）  
おかやま適塾（塾長）

馬場 勉

今日は10月8日（水）。「おかやま適塾」では、今夜、臨濟宗妙心寺派曹源寺の原田住職さんに話してもらいます。高僧による法話は、是非拝聴したいところです。

岡山商科大学の孔子学院主催の孔子の故郷を巡る旅に参加して昨日帰ってきました。

大連から済南へと飛び、そこから“曲阜”までクルマで約2時間のところに、孔子の生れた里があります。一朝一夕にできるような代物ではなく歴史を感じます。一見の価値あり。世界遺産。日本では、孔子の論語等はよく知られ日本人の精神構造に深く根付いています。

本家中国では、文化大革命のときは高い評価は得られなかった。中国の開放経済政策により格差社会ができてお金、お金の社会になり孔子は忘れられていたのです。しかし、昨今は復活の兆しがでてきているようです。一度は訪れてみたいところです。是非機会があればおいで下さい。強行軍ですが良かったですよ～。

平成20年10月8日 馬場 勉



## 歴史の重みは人々を感動させる。

### 日露戦争跡と孔子の生まれた里への旅行記。

はや10月も半ば。昼夜の寒暖の差が激しい。今年は、日照が良かったのに、雨が少なく果物のときは、まずまずだったというのが相場。

#### 1. 一服しましょうや～

世の中はセンキョ、センキョで騒々しい。知事選・衆議院選が行われる。どういう結果になるかは見ものです。

当分の間選挙のことは、遠慮して書かないことにします。(本当は法律に触れないようにするため)

何か楽しいことを書いてほしいというリクエストもあり、旅行した見聞録を書いてみましょう。

私は、B型人間の典型のような人物で、何事にも好奇心があり興味が湧きます。パットヒラメクのですが早とちりして失敗することもたまにはあります。

私が一緒に同行していると旅行が盛り上がるようで、行かなかった時は「なぜ来なかったのか」とお叱りを受けることもあります。

東京は大都会ですが、皇居をはじめ大きな緑の森が点在して多くあります。岡山市にも遊休地をとりあえず大型公園にしたらよいのでは、と審議会等で提案するのですが、「国の基準に見合うだけの公園部分は存在

している」とか「落ち葉の掃除に困る」とか本気になってくれません。

法律に合致すればそれ以上は必要ないという考えが支配的です。また掃除をする人を雇用することは失業対策になると思うのですがねえ。

中国では道路を掃除する人がいる。なのに、岡山ではその人件費が無いくらい貧乏なのではないでしょうか？さらに専門の掃除人を採用すると考える余裕も無いのですかねえ？どうも、公務員諸公は頭が硬いようです。

政令指定都市が誕生すると浮かれる前に、足元を見直してみられては如何ですか。心豊かに暮らせる安全・安心な岡山にしてほしいと願っています。

#### 2. 広大な中国大陸を見聞

中国では、目的地に行くのに飛行機や主要都市から高速道を車で数時間はざら。だから、すぐそこ思っても一日がかりの強行軍になる。

岡山商科大学・岡山孔子学院の訪中団に参加して、大連から孔子の生まれ故郷、曲阜(きょくふ)へと旅した。

岡山と大連間には直行便がある。大連は、戦前の満州国の中心地で日本人には馴染みが深い。旅順港、203高地、旧満鉄本社など見所も多い。

日露戦争にまつわる203高地(海拔203m)は乃木大将の名と共に有名である。

不凍港として名高い旅順港はバルチック艦隊とともに歴史上の場所である。旧満鉄本社は、日本の官庁を模倣した建物でまだ現存しています。大連は、食事が美味いから食べることに生きがいを感じるものとしては、また行ってみたい。綺麗な街並みである。ただ、遊ぶ所は少ないそうです。

曲阜へは、大連から済南へ飛行機で1時間、さらに車で高速道を2時間程のところにある。孔子の生まれた故郷である。一步旧市内に入ると2500年の歴史の重みをひしひしと感じる。

概ね3カ所(孔廟・孔府・孔林)に分かれている。区域は広い。一朝一夕に出来上がった街並みではない。一度は訪ねてみたいところ。林は墳墓のあるところを意味する。今では、高速道を車で行けるため、さほど昔にはならないが、昔は大変な田舎であった。だから俗化されずに残った。

今の世を支配するアメリカはせいぜい500年程の歴史。それに比べ中国は3000年以上。今をときめくそのアメリカも株やドルの混乱で国が衰退途上にある。そのうち、とって代わる国が出てくるだろう。歴史はくり返す。  
(H20・10・15)

鞍馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
おがやま通塾(塾長)

馬場 勉

今年は秋の訪れが遅いようです。自称自由人である私は、形式ばらず未だ昼間は半袖でノーネクタイを通しています。暑いからです。

先日、奈良で大会がありまいりました。小旅行に奈良周辺を回りました。「大極殿」が建設中で中を見学させてもらいました。団体で行くと個人では入れてもらえないような場所でも特別拝観できることが多いので、できるだけ参加するようにしています。大極殿は奈良の都の平城京1300年の復元作業の一環です。すでに「南大門」はできています。気になることは、日本には大木がほとんど無くなっていることです。ひび割れを防ぐためには芯を避けて造作するのですが、そうすれば2倍の大きさの木が必要となります。そういう千年以上の名木が無いのです。ですから、500年程度の木であれば柱にひび割れが入って目障りになり目立つのです。日本産で作ることが前提ですから、仕方ないことなのではないでしょうか。今から植えても間にあいません。それが日本の森林の現実なのです。



## 石井知事の4選勝利を祝賀する

自尊に陥らず、有終の美を飾って欲しい。

今年も、あと残すところ2カ月弱。政治・経済の混乱は、時代の大きな節目（チェンジ）の前ぶれを想起させる。当分の間、不安定な世相は変わらないだろう。

### 1. 株価の乱高下は続く

100年に一度あるか無いかの経済の大混乱らしい。株に興味がなくても、実体経済は悪化の方向に進んでおり、奈落の苦しみを全世界の人々が味わうことになる。実生活に多大な影響が出て生活難をもたらした。

アメリカのサブプライムローンの崩壊が引き金になったと見るのが一般的である。金融派生商品として不動産の証券化が花形としてデビューし、ヘッジファンドなど花盛りであったが、今や崩壊の憂き目である。

仮に、株や投資で稼いでいる人々がいるとすれば、相当の授業料を過去に支払って、常に勉強しているはずである。マーケットがグローバル化していること、また、通信の発達により瞬時に情報が伝達されるため、その気になれば稼げるようだ。

さて、参考になる話。サブプライムローンにより空き家になった不動産を米国政府が買い取る政策は、ドブに金を捨てるようなものだという説。なぜならば、米国では、結婚し

ない女性が増えており、郊外の一戸建は子供がいないので必要ない。逆ドーナツ現象で、都心回帰が現れているというのだ。説得力のある筋の通った見通しだ。建物は売れない。

日本の不動産市場も同様の傾向が健在化しており、顕著になるだろうから、住宅地の需要の減退による価格下落は当然の結末である。このことは、強く認識しておく必要がある。

### 2. 総括と選挙戦略の研究を

実績と実力を誇る石井正弘氏が知事選に勝利した。あと4年間、岡山県のために勇猛果敢にリーダーシップを発揮され、全国民の誰もが岡山の位置を確認できるような誇り高い県にしてほしい。実際問題、岡山を知らない人が多過ぎます。

今回の“石井対住宅（スミタク）”の戦いは、12年間ほとんど毎日マスコミに登場した石井氏に対して“ちくわ奏者”として少しは名を馳せている住宅氏が1カ月半で挑んだ。

本来、喧嘩にならない相手と判断するのが常識。ところが大接戦。住宅氏はよくやったというのが大方の見方といえる。

選挙戦は、最後の土壇場で、石井陣営の死にもものぐるいの戦略が凄まじかった。初めは、住宅氏を泡沫候

補ぐらにあしらっていたのだが、4選批判やその他の諸問題に対する感情のしこりもあって、終盤になって石井陣営は危機感を抱き、戦術・戦略の限界までネジを巻いた。

それも投票が終了するまで手を休めなかった。経験則上、最後の3日間で選挙は決まるものだからだ。

一方、住宅陣営には世の中の風向きが思ったより良かった。個人演説会にも多くが集まり、「ヤレル」という気の緩みが生じて、最後まで闘争心が集中できず負けた。

石井知事の当確が出た時の知事の“涙”が、最後の熾烈な闘いを物語っている。残念に思うことは、住宅陣営が最終段階で安心した気持ちになってしまったことだ。それが5万票余の差になった。

岡山市・倉敷市・早島町の県南の都市部は住宅氏の方が多かったのだから、その気になれば十分に獲得できた票差であった。「銃後の守り」の陣頭をとる厳しい参謀がいたら、結果は変わっていただろう。残念だ。

何れにせよ、敗北した選挙結果は、厳粛に受け止めて捲土重来を期す必要がある。石井知事は、後世の県民から「中興の祖」と崇められるような“名知事”になられることを願望します。本心からそう思います。

(H20・10・29)

㈱馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
おかやま道塾(塾長)

馬場勉

円高が一進一退で進行中。海外旅行が安くなったと喜ぶ人は幸せ。現実には、申し込みは少ないようだ。

年末年始は、12月27日から1月4日まで取れる人は9日間の大型休暇です。さて、どう過ごすかです。まだ株価は乱高下が何回かあるはず。ヘッジファンドが大量の売りを出した時があって暴落(1,000円)しました。何時かは、株価は回復するはずですから、気長に考えるか目先の動静に血なまこになって一喜一憂するかあなたは、どちら派でしょうか。株はキャッチボール(スポーツ)と思えばいいのではないのでしょうか。本業は、あくまで大切にしましょう。

紅葉狩りは定番の所でしたら、これからでしょう。蒜山・大山地方や閑谷学校などは、お勧めです。なお、京都は紅葉が素晴らしい所の名所が結構あります。ただ、宿がとりにくいようですが…。お客様を引き付ける自然は、岡山にも随所にありますが観光客等の吸引力が弱いようです。



## 惜別の歌「夏草や兵どもが夢の跡」

### チボリ閉園による後始末が大変

なんだか暖かい秋。台風も来なかった。地球全体が少し変になった気がするのは私だけか？

#### 1. チェンジ

米国では民主党の黒人、オバマさんが共和党のマケインさんを圧倒的多数で破り大統領になる。「暗殺されるのでは」とビクビクする日々。偉いさんともなれば、自由な行動はできない。困ったもんだ。有名人になり、露出される機会が多くなると他人の目が気になる。「全てよし」ということにはならぬのが世の常。

日本は、自民党の長期政権が制度疲労を起こしている。民主党に代わってみたら良いと考える人も多い。一度やらしてみたらよいであろう。

過去に自民党は、政権から離れて散々な目にあった。なりふり構わず村山政権を誕生させた経緯がある。

民主党をはじめ野党は、長い間外野席に甘んじてきた。昨今は参議院の逆転現象で主張が通るようになったが、やはりネバリが足りない。自民党をはじめ政権に就いた者は、死守する意気込みが違う。

米国では二大政党が、常に入れ替わるから新鮮味がある。今度はどんなチェンジ効果が生ずるのだろうか。

世界同時恐慌の様相を示し実体経

済は、日本においても益々悪くなるだろう。景気は、気持が荒む限り、おいそれとは上昇傾向を示さないだろう。

景気対策として一人1万2000円を定額給付するとのことだが、その程度では焼け石に水。高額所得者に渡すのはどうかと議論しているが、彼らこそ納税額が多いのだから返納したと考えればよい。こういうことで、もめる麻生内閣の実力の程を疑う。だから、支持率が低落するのだ。

高速道路を1000円にするとかだが、いっそタダにした方が経済効果は大きいから景気浮揚に役立つ。管理費の方が高く費用対効果の点からあまり得策ではない。同じやるのなら思い切ったことをやるべきだろう。

チェンジの効果如何、期待が大きければ失望も大きくなるから、程々に期待するのが良いかも知れないが、それでは何も変わらないため、閉塞感が溜まるばかりだ。

#### 2. いつまでも足を引っ張る

チボリ公園は、今年12月末をもって閉園する。後始末が大変なようで、更地にするのだから既存施設は取り壊す。結局500億円を投入し、12年間公園が運営されたが、人の怨念が残り、何かいいことがあったのだら

うか。残念ながら、さほどの目立ったものは何もなかったようだ。

不幸だったのは、チボリ公園が倉敷市民から愛されなかったことだ。色々言う人が、現実に公園へ何回足を運んだかである。訪れたことが無いに等しい人が多いのでは？

石井知事さんも本当に遊びにどのくらい行ったのでしょうか。楽しかった思い出があれば、廃園ということにはなかったのではないかな。もっと知恵が湧いたはず。よく行った人ほど愛着があり、閉園を惜んでいる。

さて、もう過去のことはいいませんが、倉敷市が公園を市民公園として、あるいは観光資源としてどうするのかの方針が未だ示されていないようです。一刻も早く出さないで次の絵が書けないのです。

景気が悪くなったため、再開発に参画する企業も限られてくるでしょう。残る公園部分が明確にならないと次のステップに進めないのです。本気で必要とするのなら早急に意思表示すべきです。

私は、倉敷市にとっては貴重な観光資源であり起爆剤となると考えます。再開発して新たな集客施設として新規オープンすべきでしょう。

坂口社長は責任感強く、最後の清算まで済ませると意気込んでいます。

(H20・11・9)

㈱馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
お か や ま 適 整 ( 整 長 )

馬 場 勉

寒い日になった。これが正常な寒さといえるが、今までが暖かかったため身にしみ。体が慣れていない。これから冬に向けて進むのだが、正月まで一ヶ月半程。年末年始は、暦の関係で最大9日間休暇が取れる人もいる。収縮しているのは体だけでなく、財布の口も堅く締まって個人消費も冴えない。不景気な歳の瀬になるのかと思う。

景気回復は、3年かかると政府が太鼓判を押しているのだから、当分の間は冴えないであろう。そうだとすれば、静かに家の中で暮らすのが最も良いことだろう。良書を読むか、質のよいテレビを見るかしましよう。個人差により何がよいかどうかは分かれませんが～。暇つぶしに酒ばかり飲んではいけません。

ところで、紅葉は標高の高い所に行けば結構始まっている。不思議なことは、同じ場所でも、紅葉が早い木もあれば遅い木もあって時間差があること。また、月日は概ね決まった時に寒くならないと、そのまま葉が中途半端な状態で、紅葉せずに落ちることです。私の造語「適時適熟」というところか。



**超激動の平成20年だった。勉強になった。**  
**総括して実体験を来年以降の糧にしよう。**

この号で本稿は今年の最終号になる。今年の思い出を綴ってみたい。苦しみ楽しい思い出になった。

**1. 「おかやま適塾」を振り返る**

来る12月末で1年10カ月程になる。ようやく軌道に乗ってきた。思えば、さん太ホールにお出でいただいたお客さんは延べ5000人以上、講師等は約60人、講演内容を録画した動画は延べ60時間以上、開催回数は40回を数える。

ひとえに協力して下さる人々のおかげと感謝しています。山陽新聞社には毎回記事の掲載や会場を準備して下さりありがとうございます。

思い出に残る講演も多々あります。特に、マラソンの中村友梨香さんの時にはマスコミがわんさと来てくれたことです。

300人収容の会場が溢れたこともあり、少人数で淋しかったこともあります。粛々と進めてきました。市民・県民によりやく周知できる状況になりつつあり嬉しい限りです。

やはり「継続は力なり」ということだ。講師を探すのが大変でしょうというお話がありますが、それ程苦にはならないのです。むしろ、会場に足を運んで下さる人を増やすことに苦心している。会場を満員状態に

したいと願っています。

ホームページやケーブルテレビ等のメディアを活用して情報提供をしていますから、職場や家で何時でも見ることができます。アクセスは、多い日は100件を超えて平均80件程です。延べ2万件以上の閲覧があったこととなります。

まったく下絵のないキャンパスに向かって絵を書き続けているような気分です。やりがいのある仕事と思っています。嬉しいことですが講師をお願いした場合、ほとんどの人が快諾して下さることです。

出演予定は、半年先の日程もありますので重荷になることでしょう。本人や秘書をはじめ周辺の人が苦勞されているのを考えれば頭が下がります。ただ、救われるのは話をして下さった人からは、大変喜ばれています。自分の人生を振り返り、仕事を見直すなど一度立ち止まって話の構想を練って下さっているようですが、記録に残り多くの人に「感動と感銘」を与えていることだけはまちがいありません。

私は、本心のところ怖いもの知らずで始めました。今では、岡山市足守出身の緒方洪庵の生き方に少しでも近づきたいと思っています。これからも多くの皆さんの御協力により

進めていきたいと思っています。ご協力、ご指導をよろしくお申しあげます。

**2. 思い出に残ることなど**

ずっと毎週交代で、書かせてもらっていた赤枝郁郎先生が病気を機にこのコラムをお止めになった。淋しい気持がする。お世話になりました。

先生のお歳になるまで、まだ20年余りあるから、これからが脂の乗った佳境に入るのを目指してガンバリたい。赤枝先生の超人的な文筆活動等に感心するとともにあやかりたいと思っています。

私の本業は、不動産鑑定士ですが、そろそろ現場から離れたと思うようになった。修行中の若い資格者が一人前に育つのを楽しみにしている。別のやりたいことに進み、生涯現役を貫きたい。「おかやま適塾」は誰が塾長をやっても自立できるようにしておきたい。コラムをはじめジャーナリストのはしくれと自認して“責任と慎重さ”を持って文章を書き、岡山のためにいくばかりかでも貢献できれば幸甚と考えている。

とにかく、地下鉄を自分の足で歩いて乗り降りできなくなるまでは、最前線で働きたいと願っています。応援をよろしくたのみます。

(H20・11・25)

㈱馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
 おかやま適塾(塾長)

馬場 勉

色々のことがあった年でした。100年に一度の経済大混乱でしたが、「政治と株と人生」は一寸先が闇。株はテレビの専門チャンネルなどで、情報収集に努めたが、前場と後場の値動きがその日によって大きく変化するため経験則は役立たない。心理作戦でしょうか、天気予報よりもっと確率が悪い予測といえるため正直なところわからない。もし専門家の言うのが高い確率で当たれば、証券会社の倒産や赤字はないでしょう。素人の方が先入観がないので先が読めるともいえますが…。

また、県知事選は中途半端に終り不完全燃焼でした。来年は景気がさらに鈍化するという予見がします。クルマは、もうさほど売れない時代になるのではと思います。クルマにステータスを感じる人が少なくなりました。道路は、重要なところだけ早く開通するようすべきでしょう。道路の補修管理は必要ですが、新規に作ることはありません。安全・安心な街づくりの方が優先されるべきでしょう。来年の目標は住みやすい都市にしたいものです。政令指定都市になって器が大きくなっても、内容が伴わなければ金食い虫になります。